

令和7年度市民参加実施事業 評価シートまとめ 事業番号6 白井市地域公共交通計画策定事業																	資料3-1																
委員氏名		吉井 信行			岡澤 和枝			竹内 彩乃			種塚 知恵子		大嶋 信太郎			折原 圭太			増子 直文			平均（小数点以下切り捨て）											
総合評価 ①+②+③ 上級（30点）		◎ 良好		24点		◎ 良好		22点		◎ 良好		26点		◎ 良好		26点		◎ 良好		22点		○ 妥当		19点		◎ 良好		25点		◎ 良好		23点	
総合コメント		妥当な取り組みがなされている。			さまざまな市民参加の手法がとられていました。 ただ、関係機関ヒアリングについては、庁内関係各課まで対象となっており、市民参加の手法なのか疑問をもちました。 また、審議会の公募委員について、白井市地域公共交通活性化審議会の運営要綱で市民2名と規定されていますが、審議会委員数24名の1割以下であり、公募委員の割合についてご検討いただけたら良かったと思いました。			これだけ十分な市民参加が行われた背景について整理し、適応可能な形でこれからの市民参加に役立てていただきたい。			審議会、アンケート調査、さらに今後予定されているパブリックコメントやワークショップなど複数の手法で構成されている点について高く評価することができます。 公募委員の募集周知については、条例基準に基づき情報公開コーナーや図書館でも行う必要があります。 審議会には、毎回5名以上の傍聴者が参加して市民参加が機能しています。 パブリックコメントで多くの意見が寄せられ、その意見が素案の修正に活用されている点が高く評価されます。 アンケートの実施期間は36日間と十分に確保され、回収率は53.2%と望ましい基準を上回りました。ただ、事前周知が行われなかった点については理由をお聞きしたいです。審議会へのアンケート結果報告についても、資料配布にとどめず議論に活用することが求められます。			周知場所や公表場所は、最低限基準を順守すべきである。公募者委員が女性2名でありバランスにかける、また市民感覚を大切にするとなら公募者数を増やすことが望ましいと考える。結果の公表は、一か月以内が望ましいと考える。			地域公共交通という、市民生活に直結したテーマであるにもかかわらず、公募委員が2名（8%）しかないことに疑問を感じます。また、関係機関ヒアリングの対象も限定されています。			資料から①審議会の設置、②パブリックコメントの募集③アンケート調査の実施⑤ワークショップ開催⑦その他事業の開催はの結果多くの意見が各種有識者、企業から得られている。今後は市民の意見をどのように収集できるかを検討してください。													
担当課ヒアリング 質問事項					アンケート実施に関して2点伺います。 ①事前周知をしなかった理由について ②アンケートの世帯配布と回収数（回収率）の考え方について			・パブリックコメントの数がこれだけ多かった背景 ・ワークショップに多くの人が参加した背景 ・ヒアリング対象の選定についてはどのような考えのもと行われたのか			パブリックコメントでは、34名から130件の意見が提出され、さらに21件の意見が素案の修正に活用されており、市民参加の手法として非常に有効に機能したものと評価できます。この点について、担当課としては、どのような要因が多く意見提出につながったとお考えでしょうか。						公募委員の構成、及びヒアリング対象者の選定根拠についてお聞きさせください。																
評価項目		評点				評点				評点				評点				評点				評点											
①市民参加の方法	評点	9				8				9				9				8				5				8				8			
	区分	適切				概ね適切				適切				適切				概ね適切				やや不適切				概ね適切				概ね適切			
②市民参加の手続き（基準）	評点	8				8				9				9				8				7				8				8			
	区分	妥当				妥当				良好				良好				妥当				妥当				妥当				妥当			
③市民参加の手続き（水準）	評点	7				6				8				8				6				7				9				7			
	区分	とても積極的				積極的				とても積極的				積極的				とても積極的				とても積極的				とても積極的							
手法ごとの評価		評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
審議会の設置		基準	妥当に取り組まれている。			基準	おおむね条例基準に沿って行われていた。			基準				基準	・委員数は24名であり、やや多い印象がある。また、市内在住・在勤の委員は15名で、市外の委員が9名を占めている点は特徴的である。 ・公募委員の募集周知は、条例基準に基づき情報公開コーナーおよび図書館でも実施される必要がある。			基準	・周知場所に情報開示コーナーが含まれていない ・会議録の公開が2か月以内としている ・公募者委員が女性2名でありバランスにかける			基準	テーマに鑑み、公募人数が不足しています。公募周知が情報公開コーナー、図書館で行われていません。会議録が分かりやすく作成されています。			基準	上記コメントと同様			基準			
		8				9				10				9				8				6				8				8			
		水準	妥当に取り組まれている。			水準	公募委員の割合が少ない。			水準	出席率が8割程度、最終回が6割だったので、少し低いのではないかと思う。			水準	・各回において5名以上の傍聴者が参加しており、市民に開かれた形で実施されている。			水準	・市民感覚を大切にするとなら審議委員の公募者数を増やすことが望ましい ・会議録の公開は一か月以内が望ましい			水準	会議録が1か月以内に公開されていません。			水準	上記コメントと同様			水準			
		7				5				8				9				3				5				9				6			
パブリックコメント （意見公募）募集		基準	妥当に取り組まれている。			基準	おおむね条例基準に沿って行われていた。			基準	多くの人が興味を持ってコメントをしている。多くの人が興味を持っているテーマだからこそコメント数が多かったのか。			基準	・意見募集期間については、条例基準で定められている2週間以上に対し、26日間実施されており、十分な期間が確保されている。			基準	・結果の公表場所に図書館が含まれていない			基準	結果公表が情報公開コーナーで行われていません。			基準	上記コメントと同様			基準			
		8				9				10				10				9				9				8				9			
		水準	妥当に取り組まれている。			水準	電子申請サービスによる意見提出が全体の5割近くを占めており、その取り組みは評価できる。			水準	コメント数が多かった背景について教えていただきたい。			水準	・34名から130件の意見が寄せられている。 ・新コミュニティバス車内チラシや地区説明会でパブリックコメントの周知がなされたことが功を奏していると考えられる（当事者意識）。 ・パブリックコメントにより寄せられた意見により素案が修正されている（21件の意見が素案修正に活用されている）。			水準	・結果の公表場所は、最低限基準を順守すべきである			水準	募集と同じ場所で結果公表を行っています。			水準	上記コメントと同様			水準			
		8				8				9				10				9				8				9				8			
アンケート調査の実施		基準	妥当に取り組まれている。			基準	事前周知がなされていない。			基準	十分な期間を確保しつつ調査が行われている。			基準	・対象者を「15歳以上の市民およびナッジー号利用者」とした理由についてご教示ください。 ・実施期間は36日間と十分に確保されており、市民が回答しやすい環境が整っている。 ・アンケートの事前周知が行われていない点については、その理由をご教示ください。			基準	・アンケート実施の周知が無い ・アンケートの結果公表までの期間が長い			基準	事前周知は行っていませんが、アンケート内容に鑑み、妥当と判断します。			基準	上記コメントと同様			基準			
		8				7				7				9				8				9				8				8			
		水準	妥当に取り組まれている。			水準	調査結果はわかりやすくまとめられていた。			水準	バス停留所での配布は効率的だと思う。			水準	・回収率は53.2%で、望ましい基準とされる30%以上を大きく上回っており、高い成果が得られている。 ・審議会への結果報告は資料の配布や説明にとどめず、調査結果を踏まえた議論を行うことが望ましい。			水準	・アンケート実施の周知はすべきである ・アンケートの結果公表までの期間は一か月以内が望ましい			水準	アンケートの回収率を上げるための工夫が見られません。結果公表まで時間がかかっています。			水準	上記コメントと同様			水準			
		7				7				6				8				6				7				9				7			
ワークショップの開催		基準	妥当に取り組まれている。			基準	おおむね条例基準に沿って行われていた。			基準	周知の場所等も適切に行われていた。			基準	地区別ワークショップは市内7カ所で実施され、広報しづい、ホームページ、情報公開コーナー、各課窓口、図書館、担当課窓口、LINE、メール配信、駅・コミュニティバス車内・スーパーでのチラシ配布など、多様な方法で周知されている。 開催記録の作成・公表も行われており、条例基準に照らして適切に実施されている。			基準	・開催記録の公表場所に図書館が含まれていない			基準	検討結果の公表時期が周知されていません。結果公表が図書館で行われていません。			基準	上記コメントと同様			基準			
		8				9				10				9				8				8				8				8			
		水準	妥当に取り組まれている。			水準	事前周知は、LINEやメール、駅、バス車内等、さまざまな方法がとられ、積極性が感じられた。			水準	多くの人がワークショップに参加した背景について教えていただきたい。			水準	ワークショップには93名が参加しており、地域ごとの移動の便りことや、公共交通を維持するために地域、自治体ができることを考える場として有効に機能している。 一方で、担当課の自己評価にもあるように、計画の具体案を示した上で意見を伺う方法も考えられたい。今後は実施時期やテーマの設定の工夫により、より計画への反映が分かりやすい形にすることが期待される。			水準	・開催記録の公表場所は最低限基準を順守すべきである			水準	望ましく実施されています。			水準	上記コメントと同様			水準			
		7				8				10				8				8				10				9				8			
その他の方法		基準	妥当に取り組まれている。			基準	14回にわたり個別のヒアリングが行われた。必要な取り組みと思うが、ヒアリング対象の関係機関に庁内関係各課が含まれており、市民参加の手法として評価するのは難しい。			基準	交通に関係する主体を網羅的に洗い出してヒアリングが進められている。人的リソースが十分にあるのかどうか気になった。			基準	市内交通事業者、医療機関、公共施設、福祉部門など、公共交通と関係の深い機関から実務的な意見を把握しており、アンケートやワークショップだけでは把握しにくい課題を補充している点は評価できる。今後は、関係機関ヒアリングで得られた意見が、計画の施策や目標にどのように反映されたのかを分かりやすく整理して示すことが期待される。			基準	・周知場所に広報しづいが含まれていない			基準	参加者の資格が限定されています。事前周知が広報しづいで行われていません。関係機関ヒアリングの意義がわかりません。			基準	上記コメントと同様			基準			
		8				7				10				8				9				4				8				7			
		水準	妥当に取り組まれている。			水準	条例基準のコメント同様、望ましい水準に照らした評価は難しい。			水準	丁寧なヒアリングが行われている。			水準	交通事業者、医療機関、公共施設、福祉部門など、公共交通と関係の深い機関から実務的な意見を把握しており、アンケートやワークショップだけでは把握しにくい課題を補充している点は評価できる。今後は、関係機関ヒアリングで得られた意見が、計画の施策や目標にどのように反映されたのかを分かりやすく整理して示すことが期待される。			水準	・周知場所は最低限基準を順守すべきである			水準	実施の効果がよくわかりません。			水準	上記コメントと同様			水準			
		7				4				10				8				7				5				9				7			

令和7年度市民参加実施事業 評価シートまとめ 事業番号7 白井駅・西白井駅周辺ビジョン																	
委員氏名		吉井 信行		岡澤 和枝		竹内 彩乃		稲葉 知恵子		大嶋 信太郎		折原 圭太		増子 直文		平均（小数点以下切り捨て）	
総合評価 ①+②+③ 上限（30点）		◎ 良好	22点	◎ 良好	22点	◎ 良好	25点	◎ 良好	27点	◎ 良好	22点	◎ 良好	21点	◎ 良好	24点	◎ 良好	22点
総合コメント		妥当に取り組まれているが複数の「市民参加の方法」を取り入れても良かったのではないかな。		パブリックコメントに関するホームページのアクセス件数が多く、関心の高さが伺えました。あわせて、事前周知方法にSNSを活用したことでより周知が広がったと思われます。 一方、自己評価における改善点にもあるよう、資料の素案からでは求められている意見の視点を定めることは難しく感じられ、概要版などの資料があれば提出件数の増加やその内容が深まったのではないかと思います。		パブリックコメントだけであったため、総合的には限られた市民参加であったものの、短期間で市民から意見が集められていて、パブリックコメントの機能を十分活用した点が評価できた。		白井駅・西白井駅周辺ビジョン策定事業における市民参加では、パブリックコメントを通じて市民の意見を把握する機会が設けられており、15人から25件の意見が寄せられている点は評価できる。 ホームページへのアクセス数も563件と比較的多く、LINEやXを通じた周知も行われていることから、多様な媒体を活用して市民に情報を届けようとする工夫が見られる。 一方で、駅周辺の将来像は地域住民や利用者の日常生活に関わるテーマであり、パブリックコメント以外にも、意見交換会、アンケート、ワークショップなどの手法が有効に機能する可能性がある。今回、他の市民参加手法についてどのように検討されたのか、またパブリックコメントを主な手法として選択した理由について確認したい。		市民全般から意見を募集する努力を評価します。コメントに対して丁寧に市の考え方を説明していますが、改善点で「市への要望等、ビジョンへの反映ができない意見であり」とのコメントがありました。非常に残念なコメントであり、市民の声を無駄にしない行政をお願いしたい。 市民の関心が高くパブコメで意見が多く寄せられたことから意見交換会やワークショップを活用してより多くの意見を拾い上げるべきだったと思う。		パブコメに限定して実施されているため、あくまで基本方針の策定という初期段階の取り組みと理解してしまいます。		千葉ニュータウン事業整備から北総開発線が成田空港まで開通するまで地域の発展は時間が掛かりすぎ西白井、白井は過疎の町。今後、新たな魅力を働く・住む・訪れる将来の方向性を検討する			
担当職ヒアリング 質問事項		複数の「市民参加の方法」をとらなかったのはどうしてか。				パブリックコメントのみ行われた背景について教えていただきたい。比較的多くの意見が集まった背景について教えていただきたい。		・ホームページへのアクセス数が563件と多く、また15人から25件の意見が寄せられていることから、パブリックコメントが市民の関心を一定程度集めたものと評価できます。担当課としては、今回の周知や意見募集が比較的上まぐ機能した要因をどのように分析されていますか。		パブコンの結果は、他の部署等と共有化を図ったのですか？		パブコメに限定して実施した理由をお聞かせください。					
評価項目		評点		評点		評点		評点		評点		評点		評点			
①市民参加の方法	評点	5		6		5		8		5		7		7		6	
	区分	やや不適切		やや不適切		やや不適切		概ね適切		やや不適切		概ね適切		概ね適切		やや不適切	
②市民参加の手続き（基準）	評点	8		9		10		10		9		7		8		8	
	区分	妥当		良好		良好		良好		良好		妥当		妥当			
③市民参加の手続き（水準）	評点	9		7		10		9		8		7		9		8	
	区分	とても積極的		とても積極的		とても積極的		とても積極的		とても積極的		とても積極的		とても積極的			
手法ごとの評価		評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
パブリックコメント (意見公募)募集	基準		妥当に取り組まれている。	基準	おおむね条例基準に沿って行われていた。	基準	パブリックコメントととしては多くの意見が集まっていた。	基準	・意見募集期間は33日間確保されており、条例基準で求められる期間を十分に満たしている。また、ホームページに加え、LINEやXを通じた周知も行われていることから、適切に実施されていると評価できる。	基準	・結果の公表場所に図書館が含まれていない	基準	検討結果の公表時期が周知されていません。市民に分かりやすい公表用の資料の作成に配慮していません。結果公表が図書館で行われていません。	基準	多くの市民から意見が得られるようにWEBでの回答募集が良です	基準	
	8			9		10		10		9		7		8		8	
	水準		妥当に取り組まれている。	水準	意見提出や事前周知はさまざまな方法で行われたことは評価できる。	水準	多くの意見が集まった背景について教えていただきたい。	水準	・ホームページへのアクセス数は563件であり、市民の関心が一定程度寄せられていたことがうかがえる。また、15人から25件の意見が寄せられており、パブリックコメントが市民意見を把握する機会として一定程度機能していると考えられる。	水準	・結果の公表場所は最低限基準を順守すべきである	水準	計画や条例の概要版が作成されていません。募集と同じ場所で結果公表を行っていません。	水準	今後、更に地域の市民から意見を集約することで魅力的で快適な地域が作れる	水準	
	9				7		10		9		8		7		9		8

令和7年度市民参加実施事業 評価シートまとめ 事業番号8 白井市都市マスタープラン改定事業																		
委員氏名		吉井 徳行		岡澤 和枝		竹内 彩乃		稲葉 知恵子		大嶋 徳太郎		折原 圭太		増子 直文		平均（小数点以下切り捨て）		
総合評価 ①+②+③ 上限（30点）	◎ 良好	21点	◎ 良好	20点	◎ 良好	26点	◎ 良好	25点	○ 妥当	19点	◎ 良好	20点	◎ 良好	25点	◎ 良好	20点		
総合コメント	妥当に取り組まれているが、一部「事前周知の方法」「結果・公表・取り扱い」への取り組みが弱い。		パブリックコメントはHPへのアクセス件数や意見提出の件数も多く、市民の関心の高さが伺えました。一方、自己評価にも記載されていましたが募集期間が14日間であり、十分な設定期間をご検討いただけたら良かったと思います。		多くの市民参加手法を組み合わせしており、高く評価できる。他の計画とも連動させながら進められた点も素晴らしい。		白井市都市マスタープラン改定事業では、審議会、パブリックコメント、アンケート調査、意見交換会、地区別ワークショップ、関係団体への説明・意見聴取など、多様な市民参加手法が実施されており、都市計画に関する市民の意向を多面的に把握しようとする姿勢が高く評価できる。 特に、住民意識調査に加え、高校生世代・若い世代へのアンケートを実施している点や、「しろいの未来作戦会議」、地区別ワークショップなどを通じて、幅広い世代・地域から意見を把握しようとしている点は有意義である。また、パブリックコメントでは26人から56件の意見が寄せられ、13件が素案修正に活用されており、市民参加の成果が計画に反映されている点も評価できる。		公募委員の選出が選出基準を満たしておらず、偏った選出となっている。また、審議会開催の周知、議事録公開に関しては、積極性を感じられない。周知場所や公表場所は、最低限基準を守るべきである。アンケートに関しては、対象者により回答率が低い結果となったものがあり回答率アップの対策が必要である。結果の公表は、終了後一か月以内が妥当と考える。都市づくりに関する計画概要説明に関して、市主催の説明会や会議でなくとも市役所の職員が参加して発言、意見を求めたのであれば、記録は残し都市づくりの参考にすべきである。		様々な市民参加の手法を採用したことに加え、さらに市民の意見の深掘りのために、商工会、工業団地協議会、農業委員会に意見聴取を行ったことは評価します。 今後のアンケート回収率向上に向けた取り組みを期待します。		まちづくりの重要な政策で多くの意見を吸い上げないと見えないことがあると思われます。分野分類の中、各課との進捗状況の確認を行い継続して良い計画を策定願います。					
担当課ヒアリング 質問事項					パブコメの工夫があれば教えていただきたい。 公募委員の募集方法について教えていただきたい。		パブリックコメントでは26人から56件の意見が寄せられ、13件が素案修正に活用されています。多くの意見提出につながった要因や、意見を素案修正に反映する際に重視した観点についてご教示ください。 ・高校生世代・若い世代アンケートの回答率が相対的に低かったことについて、担当課としてどのように分析されているか、また今後若い世代の意見をより把握するためにどのような工夫考えられるかをご教示ください。		白井市商工会等の団体の会合に参加した際の職員の出張報告書はありますよね？		・高校生世代、若い世代のアンケート回収率が低いですが、改善に向けた方策の検討状況につき、具体的に教えてください。 ・審議会公募委員の構成が低い（2名13％）理由を教えてください。		プラン改定にあたり各課との意見交換をどのように行っていますか					
評価項目		評点		評点		評点		評点		評点		評点		評点				
①市民参加の方法	評点	9		7		9		9		6		7		8		7		
	区分	適切		概ね適切		適切		適切		やや不適切		概ね適切		概ね適切		概ね適切		
②市民参加の手続き（基準）	評点	7		8		9		8		8		7		8		7		
	区分	妥当		妥当		良好		妥当		妥当		妥当		妥当				
③市民参加の手続き（水準）	評点	5		5		8		8		5		6		9		6		
	区分	積極的		積極的		とても積極的		とても積極的		積極的		積極的		とても積極的		積極的		
手法ごとの評価	評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント				
審議会の設置	基準	妥当に取り組まれている。		基準	おおむね条例基準に沿って実施されていました。		基準	多くの方が応募しているが、どのように効果的に広報をおこなったのか。		基準	・公募委員枠が2名に対して2名の委員が、女性、年齢が51～65歳、第一小学校区であり、偏った選考となっている		基準	テーマに鑑み、公募委員の割合が少ないです。		基準	期間中に審議会を実施している事で意見を集約している。	
	8			9			9			8			9			8		
	水準	妥当に取り組まれている。		水準	公募委員の割合が13%は少ないと思います。		水準			水準	都市計画審議会では、都市マスタープランの改定について複数回審議され、進捗状況、素案、パブリックコメント結果等が段階的に報告・審議されている点が評価できる。		水準	結果公表の手段、時期が不十分です。		水準	将来のまちづくりとして方針を求める重要な政策のため	
	6			5			8			8			4			9		
パブリックコメント（意見公募）募集	基準	妥当に取り組まれている。		基準	おおむね条例基準に沿って実施されていました。		基準	パブリックコメントの期間は短かったものの、比較的多くのご意見をいただくことができています。		基準	意見募集期間は14日間であり、条例基準で求められる2週間以上は満たしている。また、提出方法や資料提供場所も複数確保されており、条例基準に照らしておおむね適切に実施されている。		基準	・公表場所に図書館が含まれていない		基準	募集期間が短いです。意見が図書館で公開されています。	
	7			9			10			9			9			8		
	水準	妥当に取り組まれている。		水準	概要版を作成されたことは評価できますが、募集期間が14日間は短いと思います。		水準	これだけの意見が集まった場合、意見への対応に時間が費やされたと思う。負担も大きかったと思うが、良かった点を挙げていただきたい。3週間くらい期間を取っても良かったのではないかな。		水準	パブリックコメントでは26人から56件の意見が寄せられ、そのうち13件が素案修正に活用されており、市民参加の手法として有効に機能したものと評価できる。		水準	・募集期間を14日としたが3週間以上が望ましい ・公表場所は最低限基準を順守すべきである		水準	事前周知が不十分です。	
	8			7			8			9			6			7		
アンケート調査の実施	基準	概ね妥当に取り組まれているが、「事前周知の方法」への取り組みが弱い。		基準	結果公表については、いずれも条例基準に沿って実施されていました。		基準	若者対象のアンケートの回答率が低かった。原因の分析があれば教えていただきたい。		基準	第15回住民意識調査に加え、高校生世代アンケート、若い世代アンケートが実施されており、都市マスタープランの改定に向けて幅広い世代の意見を把握しようとしている。		基準	・実施の事前周知がされていないか周知基準を順守していない		基準	期間中に審議会を実施している事で意見を集約している。	
	7			8			9			9			8			8		
	水準	概ね妥当に取り組まれているが、「事前周知の方法」への取り組みが弱い。		水準	高校生と若い世代の回収率が低い。Web限定ではなく住民意識調査と同様に郵便を含めた回収方法であれば、回収率の向上につながったのではないかと思います。		水準	Xを用いて広報をしている、WEB回答を可能にした点は評価できる。		水準	住民意識調査の回収率は52.3%であり、望ましい水準とされる30%を大きく上回っている点は高く評価できる。WEB回答の導入により、前回より回答率が上昇したことも評価できる。		水準	・事前周知は最低限基準を順守すべきである ・すべてのアンケートで結果の公表までの期間が長すぎる、1か月以内が妥当と考える ・回答率が第15回住民意識調査では52.3%であったが他の2件は13.6、21.3%と低い結果である		水準	高校世代、若い世代の回収率が低いです。	
	8			6			9			8			7			9		
意見交換会の開催	基準	ほぼ妥当に取り組まれているが、「事前周知の方法」への取り組みが弱い。		基準	おおむね市民が参加しやすい場所や時間帯で開催されています。		基準	良い取り組みを行われたと思う。		基準	「気軽に本音でSHIROトーク」、「しろいの未来作戦会議」、「タウンミーティング」、「地区別ワークショップ」など、多様な形式で意見交換会が実施されており、開催日時・場所・参加資格等の周知や、開催記録の作成・公表も行われている。		基準	・3つの交換会ともに事前周知場所に情報開示コーナー、図書館が含まれていない、また結果の公表場所に図書館が含まれていない		基準	期間中に審議会を実施している事で意見を集約している。	
	6			7			10			9			7			8		
	水準	ほぼ妥当に取り組まれているが、「事前周知の方法」への取り組みが弱い。		水準	事前周知は、LINEやメール、チラシなど多様な方法で取り組んでいましたが、結果公表はどの意見交換会も限定的であり市民への公表に工夫が必要であると思います。		水準	もっと多くの方に参加していただけないように、PRや参加者へのメリットについてアピールできても良かったかもしれない。		水準	意見交換会・ワークショップは、庁内・議員向けを除いて計20回開催され、延べ207名が参加しており、対話型の市民参加として高く評価できる。		水準	・周知場所、公表場所は最低限基準を順守すべきである ・チラシでのPRをしたことだが、人の集まりそうな場所で周知したとは判断できない ・公表までの期間は1か月以内が妥当と考える		水準	将来のまちづくりとして方針を求める重要な政策のため	
	1			5			9			9			3			9		

令和7年度市民参加実施事業 評価シートまとめ 事業番号9 白井市公共施設等総合管理計画策定事業																			令和7年度市民参加実施事業 評価シートまとめ 事業番号9 白井市公共施設等総合管理計画策定事業																		
委員氏名		吉井 徳行			岡澤 和枝			竹内 彩乃			稲葉 知恵子			大嶋 徳太郎			折原 圭太			増子 直文			平均（小数点以下切り捨て）														
総合評価 ①+②+③ 上限（30点）		○ 妥当	19点		◎ 良好	22点		◎ 良好	24点		◎ 良好	24点		○ 妥当	18点		◎ 良好	20点		◎ 良好	25点		◎ 良好	21点													
総合コメント		概ね妥当に取り組まれているが、一部「募集方法」への取り組みと「結果公表・取り扱い」への取り組みが弱い。			概要版を含め資料作りに工夫が感じられました。 審議会、パブリックコメントの他に、市民参加の手法を検討していただければ良かったと思いました。			基本的に必要なこと、それ以上のことにも取り組んでおり、評価できる。審議会の夜開催によって、多くの方が参加しやすかった点も良い。一方で、パブコメの閲覧数が少なかったのが残念である。もう少し見ていただけるような工夫が必要だったのではないかと。			白井市公共施設等総合管理計画策定事業では、行政経営審議会とパブリックコメントを通じて市民参加が実施されており、公共施設の老朽化、更新費用、人口構造の変化など、市民生活に関わる重要な課題について意見を聴取する機会が設けられている点は評価できる。 特に、計画本編が分量も多く分かりにくい内容であることを踏まえ、概要版や動画を作成し、審議会でも概要版を用いて説明した点は、市民委員の理解を促す工夫として評価できる。			審議委員選出に関しては、選考基準を順守すべきである、また市内在住在勤者の割合は50%以上が望ましい。会議録の公表を2か月以内としているが1か月以内が妥当と考える。パブリックコメントがゼロに対して何のコメントもないことは残念である。パブリックコメントがゼロでもホームページのみの公表でなく公表基準に準じて公表すべきであった。アクセス数47件、意見ゼロも結果である。			審議会以外の唯一の市民参加の手法のパブリックコメントの意見が無かったので、実質的には審議会のみという判断もしてしまいます。			人口減少の中で市の公共施設の在り方、継続方法を継続して意見の集約を行い改善点を見いだして下さい。																	
担当課とアライング 質疑事項								・傍聴が多かったが、関心を集めていると感じたか。 ・パブコメの閲覧数が少なかったのはなぜか。			概要版や動画を作成するなど、市民に分かりやすく伝える工夫がなされていますが、これらの資料はパブリックコメントの周知や意見提出にどのように活用されたのかをご教示ください。			パブコメの結果公表は、2026年4月7日にホームページで行ったのですか？			・市民参加の手法としてパブリックコメントのみを採用した理由、および意見がなかった原因と、今後の対策について教えてください。 ・審議会の開催時間帯がいずれの回も18:30以降になっている理由を教えてください。			各課との意見交換をどのように行っていますか																	
評価項目		評点			評点			評点			評点			評点			評点			評点																	
①市民参加の方法	評点	4			6			6			8			6			7			8			6														
	区分	不適切			やや不適切			やや不適切			概ね適切			やや不適切			概ね適切			概ね適切			やや不適切														
②市民参加の手続き （基準）	評点	7			9			10			9			8			7			8					8												
	区分	妥当			良好			良好			良好			妥当			妥当			妥当					妥当												
③市民参加の手続き （水準）	評点	8			7			8			7			4			6			9					7												
	区分	とても積極的			とても積極的			とても積極的			とても積極的			やや積極的			積極的			とても積極的					とても積極的												
手法ごとの評価		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント																
審議会の設置		基準	妥当に取り組まれているが、「募集方法」への取り組みが弱い。		基準	公募委員の応募方法が、郵便と担当課窓口だけであり、電子メールも選択肢として必要ではないかと思いました。		基準	審議会の開催時間が夜だったこともあり、傍聴が多く参加できている。これは昼間でなければ実現しなかったことか。		基準	行政経営審議会は、公共施設等総合管理計画の改定について審議しており、市民参加の手続きとして一定程度適切に実施されている。委員8名のうち公募委員が3名で、公募委員割合は38%となっており、市民の視点を審議に反映する機会が確保されている。		基準	・公募委員3名のうち2名が清水口小学校区である ・公募の周知場所に情報開示コーナー、図書館が含まれていない		基準	事前周知が、情報公開コーナー、図書館で実施されています。		基準	総合コメントと同様		基準														
		8			9			10			9			8			8			8			8														
		水準	妥当に取り組まれているが、「募集方法」への取り組みが弱い。		水準	審議会資料はHPにアップされていますが、資料名はすべて「会議資料」で内容がわかる表示名での記載が必要だと思いました。		水準	これだけ関心が集まっているため、最低限の情報公開だけでなく、他にもやっても良かったのではないかと考えた。		水準	概要版を用いて説明を行い、市民委員にも理解しやすいよう工夫した点は評価できる。公共施設のあり方は市民生活に密接に関わるため、審議経過や資料が市民にとって分かりやすく確認できるよう、公開資料の見やすさや一貫性についても引き続き工夫が期待される。		水準	・審議委員8名のうち市内在住在勤者は3名であり、また選出地域に偏りあることから選考基準を順守していない ・会議開催のPRを人の集まりそうな場所で行っていない ・会議録の公表を積極的に行ったとは判断できない ・会議録の公表を2か月以内としているが1か月以内が妥当と考える		水準	開催時間帯がいずれも18：30以降になっています。		水準	総合コメントと同様		水準														
		8			6			7			8			2			5			9			6														
パブリックコメント （意見公募）募集		基準	妥当に取り組まれているが、「結果公表・取り扱い」への取り組みが弱い。		基準	おおむね条例基準に沿って実施されていました。		基準	基本的なことに加えて、それ以上の取り組みが行われているにもかかわらず、閲覧件数が少なく、コメントがゼロであった。		基準	意見募集期間は30日間確保されており、条例基準で求められる2週間以上を十分に満たしている。資料提供についても、計画素案に加えて概要版が用意されており、市民が内容を理解しやすくする工夫が見られる。		基準	・事前周知において検討結果の公表時期を記載していない ・結果公表は、ホームページのみである		基準	検討結果の公表時期が周知されていません。		基準	総合コメントと同様		基準														
		7			9			10			10			8			7			8			8														
		水準	妥当に取り組まれているが、「結果公表・取り扱い」への取り組みが弱い。		水準	意見提出や事前周知はさまざまな方法で取り組まれており、工夫が感じられました。		水準	傍聴では関心を集めていたのにも関わらず、パブコメが少なかったのはなぜか。		水準	パブリックコメントは30日間実施され、概要版や改定素案も提供されているが、意見提出は0人・0件であった。ホームページへのアクセス件数も47件にとどまっている。		水準	・募集の際の資料提供場所と同じ場所で結果を公表していない ・意見がゼロであるが、ホームページへのアクセスが47件あり、これらの結果公表は最低限基準を順守すべきである		水準	結果公表の場所が不足しています。		水準	総合コメントと同様		水準														
		8			8			9			7			7			7			9			7														

令和7年度市民参加実施事業 評価シートまとめ 事業番号10 白井市第2次行政経営指針策定事業

令和7年度市民参加実施事業 評価シートまとめ 事業番号10 白井市第2次行政経営指針策定事業

委員氏名		吉井 徳行		岡澤 和枝		竹内 彩乃		稲葉 知恵子		大嶋 徳太郎		折原 圭太		増子 直文		平均（小数点以下切り捨て）	
総合評価 ①+②+③ 上限（30点）		◎ 良好	21点	◎ 良好	23点	◎ 良好	25点	◎ 良好	23点	◎ 良好	21点	◎ 良好	21点	◎ 良好	25点	◎ 良好	22点
総合コメント		妥当に取り組まれているが、一部「募集方法」と「検討結果の公表予定時期やその公表方法の周知」についての取り組みが弱い。		意欲的に審議会が開催されて協議が進められていると思いました。一方、会議録が1か月以内に公開されておらず、速やかに行われると良かったです。パブリックコメントの結果公表までの期間は適切であったと思います。		基本的な市民参加の手法はとられており、評価が高くなっている。常に傍聴者もあり、関心も持っていたいただいていたのではないかと思う。		白井市第2次行政経営指針策定事業では、行政経営審議会とパブリックコメントを通じて市民参加が実施されており、行政内部の運営や財政に関する指針という専門性の高いテーマについて、市民の意見を取り入れようとする姿勢が評価できる。		審議委員選出に関しては、選考基準を順守すべきである、また市内在住在勤者の割合は50%以上が望ましい。会議録の公表を2か月以内としているが1か月以内が妥当と考える。パブリックコメントに関しては、ホームページのアクセス件数が71件に対して意見が1名で意見数が11件であり、なぜ意見者が1名だったのかを検証して次回に役立てて欲しい。周知場所や公表場所に各センターが含まれており評価する。またパブリックコメントの結果公表までの期間が24日であったことも評価する。パブリックコメントの結果の公表時期はあらかじめ公表すべきと考える。		他の地方公共団体においては、設置されないことの多い審議会を設置され、かつ市民委員を公募された点は評価します。		人口減少の中で市の公共施設の在り方、継続方法を継続して意見の集約を行い改善点を見いだして下さい。			
担当課ヒアリング 質問事項						・開催時間を夜にした背景について教えてください。 ・HP意見入力フォームは他のパブコメでも使用できますか。		行政経営指針という専門性の高いテーマについて、2年度にわたり9回の審議会を開催し、市民委員を含めて丁寧に議論された点は評価できます。審議会での意見が指針の基本方針、取組項目、数値目標にどのように反映されたのかをご教示ください。				・市民参加の手法としてパブリックコメントのみを採用した理由を教えてください。 ・審議会の開催時間帯がいずれも18:30以降になっている理由を教えてください。		各課との意見交換をどのように行っていますか			
評価項目		評点		評点		評点		評点		評点		評点		評点			
①市民参加の方法	評点	5		7		7		7		7		8		8		7	
	区分	やや不適切		概ね適切		概ね適切		概ね適切		概ね適切		概ね適切		概ね適切		概ね適切	
②市民参加の 手続き （基準）	評点	8		9		10		9		8		7		8		8	
	区分	妥当		良好		良好		良好		妥当		妥当		妥当			
③市民参加の 手続き （水準）	評点	8		7		8		7		6		6		9		7	
	区分	とても積極的		とても積極的		とても積極的		とても積極的		積極的		積極的		とても積極的		妥当	
手法ごとの評価		評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント		
審議会の設置		基準	妥当に取り組まれているが、「募集方法」への取り組みが弱い。	基準	おおむね条例基準に沿って実施されていました。	基準	審議会の開催時間を夜にしており、傍聴者もコンスタントに参加することができている。無作為抽出以外の公募も5人と多くの方に関心を持っていただいていると考えられた。	基準	行政経営審議会は条例基準に基づき設置され、会議は公開されており、会議録および会議資料も公表されている。委員8名のうち公募委員は3名で、公募委員割合は38%となっており、市民の視点を審議に取り入れる機会が確保されている。	基準	・公募委員3名のうち2名が清水口小学校区である ・公募の周知場所に情報開示コーナー、図書館が含まれていない	基準	事前周知、および会議録の公表が不十分です。	基準	総合コメントと同様	基準	
		8		9		10		9		8		8		8		8	
		水準	妥当に取り組まれているが、「募集方法」への取り組みが弱い。	水準	定期的に審議会が開催されていますが、会議録の公開が速やかに行われると良かったと思います。	水準		水準	審議会は2年度にわたり9回開催され、白井市の現状、現行指針の結果、新指針の方向性、基本方針、取組項目、数値目標、素案、答申案まで段階的に審議されている。行政経営指針の策定過程として、十分な議論の機会が確保されている点は高く評価できる。	水準	・審議委員8名のうち市内在住在勤者は3名であり、また退出地域に偏りあることから選考基準を順守していない ・会議開催のPRを人の集まりそうな場所で行ったとは判断できない ・会議録の公表を積極的に行ったとは判断できない ・会議録の公表を2か月以内としているが1か月以内が妥当と考える	水準	実施時間帯がいずれも18：30以降になっています。会議録の公開が1か月以内にされていません。	水準	総合コメントと同様	水準	
		6		5		6		8		2		4		9		5	
パブリックコメント （意見公募）募集		基準	妥当に取り組まれているが、「検討結果の公表予定、時期やその公表方法の周知」についての取り組みが弱い。	基準	おおむね条例基準に沿って行われていた。	基準	HP意見入力フォームを使うなど、市民がコメントしやすいように工夫している点は評価できる。	基準	意見募集期間は21日間確保されており、条例基準で定められる2週間以上を満たしている。提出方法も郵便、ファクシミリ、電子メール、各センター、担当課窓口、情報公開コーナー、図書館、HP意見入力フォームなど複数用意されており、条例基準に照らして適切に実施されている。	基準	・周知場所に広報しろいが含まれていない ・検討結果の公表時期を周知していない	基準	検討結果の公表時期が周知されていません。	基準	総合コメントと同様	基準	
		8		9		10		10		8		7		8		8	
		水準	妥当に取り組まれているが、「検討結果の公表予定、時期やその公表方法の周知」についての取り組みが弱い。	水準	素案を修正する意見も含まれている中、公表が迅速に行われていた。	水準	アクセス件数は少ないが、1名からコメントが出ていた。	水準	パブリックコメントでは1人から11件の意見が寄せられ、そのうち8件が素案修正に活用されており、意見募集を実施した意義は大きい。提出意見が実際に計画修正につながっている点は評価できる。	水準	・周知、公表場所に各センターが含まれている ・公表は1か月以内である	水準		水準	総合コメントと同様	水準	
		10		9		10		7		10		9		9		9	

令和7年度市民参加実施事業 評価シートまとめ 事業番号11 白井市第3次行政経営改革実施計画策定事業

委員氏名		吉井 健行		岡澤 和枝		竹内 彩乃	
総合評価 ①+②+③ 上限（30点）	○ 妥当	19点	◎ 良好	22点	◎ 良好	25点	
総合コメント	概ね妥当に取り組まれているが、一部の「募集方法」「事前周知の方法」「結果公表・取り扱い」「検討結果の公表予定時期」への取り組みが弱い。		審議会は8ヵ月間において6回開催され意欲的に協議が進められていると思いました。 パブリックコメントの実施に十分な期間を設定されたこと、結果を迅速に公表されたことは評価できます。		傍聴者が常に参加する審議会で、パブコメも多かったので、工夫がされているのではないかなと思う。このような知見を市内で共有して、他に展開していくことが重要だと思う。		
担当課ヒアリング 質疑事項					・審議会の開催期間が令和9年までになっていたが、終了したものなのか ・図書館で会議録が公開されていない理由を教えてください ・パブコメにコメントをくださった方の属性はわからないか。（本委員会経験者など、市民参加の重要性を理解しているものなのか、どのような属性なのか分析していくことも重要ではないか）		
評価項目	評価点		評価点		評価点		
①市民参加の方法	評価点	5	7		8		
	区分	やや不適切	概ね適切		概ね適切		
②市民参加の手続き（基準）	評価点	7	9		9		
	区分	妥当	良好		良好		
③市民参加の手続き（水準）	評価点	7	6		8		
	区分	とても積極的	積極的		とても積極的		
手法ごとの評価	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	
審議会の設置	基準	妥当に取り組まれているが、「募集方法」「事前周知の方法」「結果公表・取り扱い」が弱い。	基準	おおむね条例基準に沿って実施されていました。	基準	審議会を設置した点は評価できる。傍聴参加が常にあったこともあり、関心の高いテーマであったことが伺える。会議録が図書館で公開されなかったのはなぜか。	
	7		9		9		
	水準	妥当に取り組まれているが、「募集方法」「事前周知の方法」「結果公表・取り扱い」が弱い。	水準	会議録の公表は基準どおりに行われることが望ましい。	水準	審議会において専門性が高い部分もあったとおもいますが、市民に対して、どのようなサポートがあったのか。	
	6		5		8		
パブリックコメント （意見公募）募集	基準	妥当に取り組まれているが、「検討結果の公表予定時期」への取り組みが弱い。	基準	事前周知にSNS（LINE）を活用するなどの工夫が見られました。	基準	基本的なことは実施できており、コメントも出されている。アクセス数も少な過ぎず、様々な方にアクセスいただけた点は評価できる。	
	8		9		10		
	水準	妥当に取り組まれているが、「検討結果の公表予定時期」への取り組みが弱い。	水準	各センターにも資料が配置され、結果公表の周知に積極性が感じられました。	水準		
	9		8		8		

令和7年度市民参加実施事業 評価シートまとめ 事業番号11 白井市第3次行政経営改革実施計画策定事業

稲葉 知恵子		大嶋 徳太郎		折原 圭太		増子 直文		平均（小数点以下切り捨て）	
◎ 良好	25点	◎ 良好	20点	◎ 良好	22点	◎ 良好	25点	◎ 良好	22点
白井市第3次行政経営改革実施計画策定事業では、行政経営審議会とパブリックコメントを通じて市民参加が実施されており、行政内部の運営や財政に関する実施計画という専門性の高いテーマについて、市民の意見を取り入れようとする姿勢が評価できる。 特に、他の自治体では審議会を設置しない場合もある性質の計画について、審議会を設置し、市民委員を公募した点は評価できる。また、審議会では、取組項目、素案、答申案などについて複数回にわたり審議されており、実施計画の策定過程において丁寧な検討が行われている。		審議会委員選出に関しては、選考基準を順守すべきである、また市内在住在勤者の割合は50%以上が望ましい。会議録の公表を2か月以内としているが1か月以内が妥当と考える。周知場所や公表場所に各センターが含まれており評価する、またパブリックコメントの結果公表までの期間が8日であったことも評価する。パブリックコメントの結果の公表時期はあらかじめ公表すべきと考える。		パブリックコメントの募集については、丁寧に実施されています。		人口減少の中で市の公共施設の在り方、継続方法を継続して意見の集約を行い改善点を見いだして下さい。			
行政経営改革実施計画について、審議会が出された意見が、取組項目や実施計画の内容にどのように反映されたのかを教えてください。				・市民参加の手法としてパブリックコメントのみを採用した理由を教えてください。 ・審議会の開催時間帯がいずれも18:30以降になっている理由を教えてください。		各課との意見交換をどのように行っていますか			
評価点		評価点		評価点		評価点			
8		7		7		8		7	
概ね適切		概ね適切		概ね適切		概ね適切		概ね適切	
9	＼／	8	＼／	8	＼／	8	＼／	8	＼／
良好		妥当		妥当		妥当			
8	＼／	5	＼／	7	＼／	9	＼／	7	＼／
とても積極的		積極的		とても積極的		とても積極的			
評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント		
基準	行政経営審議会は条例基準に基づき設置され、会議は公開されており、会議録および会議資料も公表されている。委員8名のうち公募委員は3名で、公募委員割合は38%となっており、市民の視点を審議に取り入れる機会が確保されている。情報公開コーナーや図書館での周知が確認できないため、条例基準に照らして一部確認・改善の余地がある。	基準	・公募委員3名のうち2名が清水口小学校区である・公募の周知場所に情報開示コーナー、図書館が含まれていない	基準	事前周知、および会議録の公表が不十分です。	基準	総合コメントと同様	基準	＼／
9		8		8		8		8	＼／
水準	審議会は複数回開催され、取組項目、素案、答申案について段階的に審議されている。行政経営改革実施計画の策定過程として、継続的な議論の機会が確保されている点は評価できる。	水準	・審議会委員8名のうち市内在住在勤者は3名であり、また退出地域に偏りあることから選考基準を順守していない・会議開催のPRを人の集まりそうな場所で行っていない・会議録の公表を積極的に行ったとは判断できない・会議録の公表を2か月以内としているが1か月以内が妥当と考える	水準	実施時間帯がいずれも18：30以降になっています。会議録の公開が1か月以内にされていません。	水準	総合コメントと同様	水準	＼／
9		2		5		9		6	＼／
基準	意見募集期間は30日間確保されており、条例基準で求められる2週間以上を十分に満たしている。提出方法も郵便、ファクシミリ、電子メール、各センター、担当課窓口、情報公開コーナー、図書館、HP意見入力フォームなど複数用意されており、条例基準に照らして適切に実施されている。	基準	・検討結果の公表時期を周知していない	基準	検討結果の公表時期が周知されていません。	基準	総合コメントと同様	基準	＼／
10		9		9		8		9	＼／
水準	パブリックコメントでは3人から5件の意見が寄せられており、市民意見を把握する機会として一定の役割を果たしている。ホームページへのアクセス数も272件あり、一定の関心が寄せられていたことがうかがえる。	水準	・周知、公表場所に各センターが含まれている・公表は1か月以内である	水準	意見を求める内容についての概要版が作成されていません。	水準	総合コメントと同様	水準	＼／
7		9		9		9		8	＼／